

ご 挨 拶

2020-21年度 地区研修リーダー
パストガバナー

北山 輝夫 (八戸北RC)



皆さんこんにちは、源新年度の研修リーダーを務めます、八戸北ロータリークラブの北山輝夫です。宜しくお願い致します。

源新年度の事前セミナーは全てが新型コロナウイルスの影響のため、集合しての開催はできないことになりました。残念ですが感染症が相手では致し方ありません。会員が感染したという情報はありませんのでちょっとホッとしております。ワクチンなどが開発されるまではまだ制限を意識しなければならないと思いますが、是非対策をして正常に近い活動ができればと思います。

今回は地区研修・協議会ということで参加者の多い会合になるはずでしたが、DVDと資料という形もやむを得ないと思います。ご了承ください。

源新年度の始まる7月に向けて準備は最終段階です。まさに非常事態の中始まる源新丸の航海安全、目的港到着に向けて皆様のご協力をお願いいたします。

RIテーマと地区テーマ、その他目標については源新2020-21年度ガバナーからお話がありましたから、私からはまさに自然災害の際にロータリークラブの活動はどうあるべきかと言う事を考える項目をお示ししたいと思います。ロータリーの柔軟性を考える機会になればと思います。

RIの方向性をクラブも考えて、ガバナー公式訪問の際に、クラブ協議会などでお考えをお話しいただきたいと思います。

1. 例会の開催

- ・会場型にこだわらず、インターネットなどの方式による開催の検討（併用を含む）。
- ・会長要件や幹事報告などのロータリー情報の伝達方法の検討（LINEなどの活用）。
- ・理事会、委員会などの開催方法の検討。

※ロータリー活動が停滞しないように検討してほしい。

2. IMなどのセミナー開催

- ・開催方法の多様化の検討。
- ・講演などをDVDやインターネット配信による方法。
- ・テレビ会議などの開催検討。
- ・ガバナー補佐の役割として中止にしない方法も考えてほしいと思います。

3. ロータリープログラムへの参加

- ・ロータリー財団や米山基金に対する寄付……このような時こそ国際的に活動するための基金が必要です。寄付が滞らない様に。
- ・青少年交換プログラムをはじめとするプログラムへの参加……中止だけでなく、参加希望の方の為の手続きについても考えてほしい。
- ・クラブと地区との連携方法の検討……今は連絡がメールやFAXなどですが、地区事務所が固定化された年度です。連絡網などLINEやZOOM等今どきの方法も考えて頂く。

公式訪問が行われますので、クラブ協議会で、これからのクラブ活動の方向性や相互の良いやり方についても話し合えると思います。よろしくお願いいたします。

時代が変わってもロータリーの原点は寛容と友情に基づく奉仕の理念だと思います。

クラブの結束を図り、地域、世界に貢献する活動を期待いたします。